

第12回チャンネル700番組審議委員会 議事録

ジャパンケーブルキャスト株式会社
チャンネル700事業推進課

1. 開催日時 令和4年3月4日(金) 11:00~12:55
2. 開催場所 本社 (東京都千代田区内幸町2-1-6 日比谷パークフロント9階) ボードルーム
3. 委員 総数 8名
うち出席委員数 6名(欠席以下2名)
東京ケーブルネットワーク株式会社 大坪代表取締役 社長執行役員
株式会社ビデオ・テック 平石代表取締役
※伊那ケーブルテレビジョン株式会社 伊藤常務取締役 オンライン参加

● 出席委員 (敬称略、氏名50音順)

株式会社ニューメディア	月刊ニューメディア代表発行人	天野 昭
伊那ケーブルテレビジョン株式会社	常務取締役	伊藤 秀男
株式会社 WOWOW プラス	代表取締役社長	大熊 和彦
株式会社釣りビジョン	代表取締役社長	嶋村 安高
株式会社秋田ケーブルテレビ	代表取締役会長	松浦 隆一
株式会社野村総合研究所	ICT メディアコンサルティング部 上級コンサルタント (プリンシパル)	山口 毅

● ジャパンケーブルキャスト (JCC)

取締役COO	大熊 茂隆
取締役	樋山 洋介
コンテンツ営業部 部長	岩浪 正純
チャンネル700 事業推進課	青木 唯香
チャンネル700 事業推進課	牧野 隼也
チャンネル700 事業推進課	益田 英利
チャンネル700 事業推進課	吉村 理菜
チャンネル700 事業推進課	中野 暁
チャンネル700 事業推進課	栃木 弘之

※役職は全て開催日時点のものです。

4. 内容 (1) 番組審議委員の紹介
 (2) 2020/21年の取り組みと2022年の予定、編成分析
 (3) 配信映像ダイジェスト上映
 (4) 番組審議・意見交換 (次ページ以降参照)

5. 番組審議等

20分ほどの配信映像ダイジェストを視聴後、内容を審議し全委員から「問題あり」という意見はなかった。放送内容は以下の通り。

1	沖縄ケーブルネットワーク	あまくま歩人
2	JWAY	神保シェフと茨城を食べよう
3	ベイ・コミュニケーションズ	HYPER DASH 基地
4	秋田ケーブルテレビ	スポコンチャンネル
5	仙台CATV	仙台発！地域密着・音楽情報番組 BONBON-TV
6	東京ケーブルネットワーク	神保町昭和歌謡倶楽部
7	伊那ケーブルテレビジョン	素でどうでしょう
8	山口ケーブルビジョン	にんげんのGO！
9	多摩テレビ	SHOKO の健康ピラティス
10	ICC	未来イノベーション
11	天草ケーブルテレビ	爆旅道中記
12	嶺南ケーブルネットワーク	たのむわ！島ちゃん！！
13	釣りビジョン	釣りうえ～ぶ
14	スカパーJSAT	サムライTVアーカイブス
15	車両スポーツ映像	真券！競輪魂
16	タカラヅカ・スカイ・ステージ	いにしえ逍遥・旅タカラジェンヌ
17	WOWOW プラス	僕たちの青春ソングス
18	信越広域ネット	信越トライウォーク ※トライトーク
19	ジャパンケーブルキャスト	JCC GIRLS 絵本の時間
20	砺波衛星通信テレビ	オンライン旅行 ナントリップ
21	ジャパンケーブルキャスト	第12回 鹿島神宮奉納 日本古武道交流演武大会
22	ジャパンケーブルキャスト	体操でおうち時間
23	ジャパンケーブルキャスト	インフォ チャンネル 700
24	ジャパンケーブルキャスト	すゑひろがりずのあっぱれふるさと珍道中
25	ジャパンケーブルキャスト	東京 WORLD ぐるぐるぐるめ
26	ジャパンケーブルキャスト	立春朝搾り
27	ジャパンケーブルキャスト	ARISS スクールコンタクト
28	ジャパンケーブルキャスト	世界を旅する Entertains スプレーアートエデン
29	ジャパンケーブルキャスト	極旅<ゴクッタビ>～久米島編～
30	ジャパンケーブルキャスト	オートバックス全日本カート選手権
31	ジャパンケーブルキャスト	伊藤さとりと映画な仲間たち
32	ジャパンケーブルキャスト	寄席の時間 (ベベコレ)
33	花巻ケーブル	元祖わんこそば全日本大会 (2020年2月) ※生中継
34	NCT	長岡花火 After2020 つなげよう、未来へ (2020年8月) ※生中継

【チャンネル700に関する主な提言・意見交換】

- 委員 ダイジェスト映像を見て、これまでのコロナ禍の2年で様々な取り組みをしているのがわかった。意欲的で感心している。
バラエティに富んだチャンネル700だが、どのようにして視聴者に見て頂くか深掘りする必要がある。
地域活性化に注力している方と協力し、SNSで発信していったらどうか。
生中継に関しては、放送の中で季節感やタイムリー感を意識し視聴者に身近に感じてもらうべき。
- 委員 制作、買い付け、編成をこのメンバー数でよく回している。
このコロナ禍で番組制作の体制が変わり、社員や出演者に制限がある中、どのように制作を長く行っていくのか、どのように行動していくかが課題。
- 委員 様々なジャンルの番組を編成しているが、チャンネル700としてのブランディングを早めに決めるべき。
一定の方向性を定め、それを軸としていくべき。
- 委員 もう少し、尖った番組を作成してもいいのではないかと。
自主制作に関して、教育（デジタル教育）ジャンルをやるのはどうか。教育に専念するのも手としてはありではないか。
- 委員 バラエティ番組などは、他のCATVとコラボしてはどうか。
地域活性化に向け、映像だけではなく様々な取り組みもしていくべき。
スピード感も大切。
- JCC コロナ以前は契約タレントを起用して全国のケーブル局と制作をしていたが現状は制作が止まっている。
- 委員 テレワークが増えている中、テレビでYouTubeを見たり
その他サブスクリプションの映像を見ることが多くなっている。
ニッチな番組を放送している部分に関しては
このまま突き進んでいただきたい。
- 委員 2年前SNS等の配信は行っていなかったが、今はTwitterを開始している
という点で、配信系に力を入れるのもいいが、チャンネル700としてどこを目指しているのかわかりづらい。目指す方向を明確にするべき。
- 委員 視聴率など、どのような人がどのような番組を見ているのか傾向を把握できる状態にしたらどうか。
- 委員 （ハイブリットキャスト実証実験中を受けて）ハイブリットキャストに関して、中途半端だと利用されない可能性がある。

単にやるだけでなく、プロモーションも含めて尽力するべき。

委員 ダイジェストにあった「立春朝搾り」のような番組は、全国に渡り展開することができる番組なので、制作可能ということ在全国のケーブルテレビ局に呼びかけたらどうか。

委員 生中継に関して、例にあげると長野県ではバスケットボールのV1リーグの中継があるが、そのような全国レベルでは普段放送されていないアウェーな生中継を放送してもいいのでは。
可能であればやってみてほしい。

委員 朝、昼、夜でどのような意図で編成を組んでいるのか？

JCC 朝は、釣りや趣味、自然系。
夜はバラエティ系で組んでいる。
お昼の12時～13時はMJTVの音楽番組を放送。

委員 視聴者の年代も関係してくるので、視聴者層を意識していくとより魅力あふれるチャンネルになるのではないか。

委員 キー局等は、どういう観点で視聴者に関するデータ分析をしているのか？
データ収集の取り組みはどのようなものか？

委員 視聴データを活用して、新規ビジネスを展開している局もある。
マルチデバイスで、テレビを見た人の情報を収集し同じような広告がスマホで流れるなど。
シームレスに情報が流れ、個人情報保護法の観点から少し難しい部分もある。

JCC BtoBでの放送形態のため直接視聴者データと関わることは中々難しく、視聴率もケーブルテレビ局から取得できる場合は一部取得するが、データ取得が可能なケーブルテレビ局と不可能な局があり現在取得出来ているデータが前項ではないため地域別のデータも取得出来ない状況。
その他、葉書やメールなどの視聴者からの意見を参考にしている。

委員 スカパーでは視聴率が取得できなくなった。
それに伴い、①東芝のWEB接触率調査のようなソフトを使用しデータ収集
②JCOMの視聴率センターを利用③カスタマーセンターにいただく声などで把握している。

委員 自局のコミチャンに関しては視聴率がとれないので、感覚でやっているのが現実。

委員 チャンネル700が目指すべきは、釣りビジョンやWOWOWのようなチャンネル。生き生きとしたコンテンツを届けるべき。

委員 各地域のコアなものが育っていく今、戦略性をもちチャンスを掴んでいく。

自治体や企業とのコラボも進んで行なうべき。
委員 インターネットを駆使し、地域の力を吸い上げるエネルギーをもち
今後も制作に取り組んでもらいたい。
チャンネル700でもコアな番組を期待している。

以上